

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 10 月 22 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2013～2015

課題番号：25300047

研究課題名(和文) インターフェイスとしての女性と中国系移民のディアスポリック空間

研究課題名(英文) Women Experiences as an Interface and Diasporic Space in Southeast Asian Chinese Communities

研究代表者

宮原 暁 (MIYAHARA, GYO)

大阪大学・グローバルコラボレーションセンター・教授

研究者番号：70294171

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 8,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、東南アジアの女性の経験世界 - - 中国系の女性と中国系の男性と通婚する女性が、いかに異なる仕方で移民社会の再生産に関与するか - - を現地調査にもとづいて明らかにすることで、東南アジアの華僑華人史の書き換えを試みるとともに、人口と空間をめぐる政治力学という観点から既存の華僑華人研究、および移民研究の枠組みを再考した。また女性たちの移動、定住、通婚、再生産の経験の蓄積のなかに「人の移動」をとらえる新たな人類学的枠組みを模索し、南、客家、広東のような民系の違い、移民と移民の故郷に残された人たちの世界観の違い、女性と男性の経験世界の違いに着目するモデルの可能性を探った。

研究成果の概要(英文)：In this research project, we examined women's experiences around male migration in the scope of "Diasporic Space," in which population movements can be interpreted politically. This project examined the invention and negotiation of identity and physical body, and the space where the incarnation is processed. Through these analyses, we discussed the post-colonial view on Chinese migrants between settlements and movements, then, Sinicization and Creolization. Women's mobility clears up the horizon where discourses on the nation-state, modern capitalism, and ancestral worship emerged, and creates a place for new interpretation on movement. The neutralized place for new interpretation can be compared to the Third Space, which Homi Bhabha argues.

研究分野：社会人類学

キーワード：中国系移民 女性 ディアスポラ 東南アジア 通婚 再生産 僑郷 民系

### 1. 研究開始当初の背景

東南アジアの中国系住民を対象とするこれまでの華僑華人研究は、近代国民国家との関係性において中国系移民の文化を位置づけようとする議論が主流をしめてきた。これらの研究では、華僑(中国籍)–華人(現地籍)といった国籍カテゴリーに基づき、中華イデオロギーの自明性と越境性への素朴な信頼感が表明されるか、あるいは逆に中国系移民の「土着化」(華人性)を強調し、ホスト社会への同化や国民統合が中国系移民の進むべき方向性として主張されがちであった。

本研究は、こうした近代国民国家を前提とした従来の華僑華人研究に対する反省に立ち、他の集団との接触によって生み出されるアイデンティティの重層性や可塑性、流動性に焦点を当てようとする。近代国民国家の「大きな物語」から脱却し、文化の革新性や多様性、クレオール性に、より配慮しようというのである。

### 2. 研究の目的

こうした従来の華僑華人研究の反省に立ち、本研究では、中国系移民と東南アジアを媒介するインターフェイスとしての女性たち(中国系の女性たちや中国系の男性と通婚した現地の女性たち、混血の女性たち)の経験世界を、「外界」との関係によって政治化した「ディアスポリック空間」ととらえ、民族誌的に再構成することで、そこに見られる社会関係やアイデンティティ、身体観等をめぐる交渉と創造の過程、及びそうした空間が生起するメカニズムを解明しようとする。そうすることで、定住と移動、中国性とクレオール性、土着化と中国化の「間」に中国系移民の新たな像を描くとともに、ポストコロナ状況における人類学の研究対象のあり方を模索し、新たな枠組みと視点を見いだそうと考えたのである。

### 3. 研究の方法

本研究では、文化の革新性や多様性、クレオール性が生起する政治的、文化的空間を「ディアスポリック空間」と名づけ、そうした空間の創造への女性の関与に着目することで、彼女たちの経験世界を把握しようとしてきた。

ここでの「ディアスポリック空間」は、属性に基づく地理的区分ではなく、他との関係性にもとづいて創造され、認識される伸び縮みする空間である。本研究では、中国系女性、および中国系の男性と通婚した非中国系の女性の経験世界をこうした「ディアスポリック空間」が生起するなかにとらえ、人類学的なフィールドワークとエスノグラフィの手法により、女性たちの経験世界を記述しようとした。

研究代表者と分担者が、それぞれフィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、中国で個別の現地調査を実施するとともに、中国福建省で合同調査を実施した。そうして得られた調査データは、大学院生の力を借りて整理するとともに、各年度2～3回実施したワークショップにおいて検討を行った。

### 4. 研究成果

本研究では、東南アジアにおける中国系移民女性の経験世界を、文化の革新性や多様性、クレオー

ル性が生起する政治的、文化的空間としての「ディアスポリック空間」が生起するなかにとらえ、民族誌的な記述を試みた。その成果は、女性の経験世界に関するものとディアスポリック空間の創造に関するものに大別できる。

#### (女性の経験世界)

- 1) 中国系移民の女性たちの移動、婚姻を通して、「中国人性」の再生産が見られること
- 2) 中国系移民の男性と通婚した非中国系女性によって、中国系移民の親族関係の双方化(バイラテラル)が見られること。
- 3) 女性の経験世界を読み解くうえで、マレーシア、インドネシアのクバヤ、フィリピンのマリア・クララなどの特徴的な衣服をクレオール化の過程の中にとえることが可能であること。これらの衣装がいわゆる民族衣装となるのは、クレオール化の後に生じた現象であること。
- 4) 中国系移民の出身地において、新たな女性の移民が生み出されつつあること。
- 5) 慈善活動や福祉活動などの活動を通して、中国系住民と非中国系住民の双方を含むネットワークが構築されていること。

#### (ディアスポリック空間)

- 1) 中国系女性、および中国系男性と通婚した非中国系女性の婚姻を通して、移民の周辺にクレオールの空間が生起すること。
- 2) 中国系移民と中国大陸の出身地との間で、故郷と関係しながらも、決して故郷に帰ろうとしない移民と、故郷に縛られる出身地の住民の姿を見出し得たこと。両者の関係は、ディアスポリック空間を生み出す重要なファクターの一つであること。
- 3) 中国大陸から移民した人たちにせよ、中国大陸に残った人にせよ、経験を解釈する女性の説明、ないしその根底にある論理が、男性の説明、論理とは著しく異なっていること。
- 4) ローカルとグローバルなレベルの「二つの」ディアスポリック空間が重層的に配置されること。ベトナム北部には広東系と客家系(ンガイ人)の漢族があり、その大多数が1970年代末までにベトナムを離れた。ベトナムに残った人たちは、女性(特にベトナム人妻)の働きにより、現地でディアスポリック空間を形成した。他方で、中国南部など世界各地に移住したンガイ人は客家のネットワークに組み込まれることになり、グローバル規模のディアスポリック空間を形成した。両者の関係を探ることが今後の課題となる。
- 5) ディアスポリック空間を考える上で広東、閩南、客家といった民系の違いを重視すべきこと。(1)現地調査 上記の研究課題に基づき、社会関係やアイデンティティ、身体観等をめぐる交渉と創造の過程、およびディアスポリック空間が生起するメカニズムの解明について、研究代表者、研究分担者、研究協力者が分担し、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、ミャンマーにおける民族誌的フィールドワークを行

った。

上記の成果の一部については、国際人類学・民族学会にて海外の研究者も交え行った(2013年8月(マンチェスター大学)、2014年5月(慕張メッセ)、2015年7月(タマサート大学)、2016年5月(ドゥブロヴニク・パレス[クロアチア])。

また THE 6TH INTERNATIONAL CONFERENCE OF INSTITUTES & LIBRARIES ON CHINESE OVERSEAS STUDIES (WCILCOS) (2015年10月 華僑大学)で分科会報告を行うとともに、世界海外華人研究学会 ISSCO (2016年7月 プリティッシュ・コロンビア大学)での分科会報告を予定している。

成果の一部は、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所のホームページにおいて公開するとともに、大阪大学グローバルコラボレーションセンターのディスカッション・ペーパーシリーズとしてweb上で公開している。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計26件)

[学会発表](計39件)

[図書](計9件)

(図書)

王柳蘭、京都大学地域研究統合情報センター、『下からの共生を問う 複相化する地域への視座』(ディスカッションペーパーNo.39)、2014。

飯塚宣子・王柳蘭(編) JCAS コラボレーションシリーズ No.9 『子どもたちは多様な地域に何を学ぶのかー感じ方の育みと総合的理解の視点』京都大学地域研究統合情報センター、2015、119頁。

河合洋尚、社会科学文献出版社(北京)『日本客家研究的視角与方法 百年的軌跡』、2013。

河合洋尚、風響社、『景観人類学の課題 中国広州における都市環境の表象と再生』、2013。

河合洋尚(編) 時潮社、『景観人類学 身体・政治・マテリアリティ』、371頁、2016。

河合洋尚・飯田卓(編) 国立民族学博物館、『中国地域の文化遺産 人類学の視点から』(国立民族学博物館調査報告(SER)136) 328頁、2016。

夏遠鳴・河合洋尚(編) 暨南大学出版社、『全球化背景下客家文化景観的創造 環南中国海の個案』、212頁、2015。

木村自、風響社、『雲南ムスリム・ディアスポラの民族誌』、276頁、2016。

宮原曉(編) 大阪大学グローバルコラボレーションセンター、『「いたみ」「かなしみ」「他者」の現場 - フィールドワークを問う』、2015。

(論文)

市川哲、「マレーシア、サラワク州における手工芸品研究のための覚書：観光と民族関係の接合」『立教大学観光学部紀要』(立教大学観光学部) 査読無、第16号、2014、pp.136 - 146。

市川哲、奈倉京子、小河久志「食文化から見る中国系移民の現地化に関する比較民族誌的研究：<上火・下火> 概念を手掛かりに」『アサヒビール学術研究財団紀要』(アサヒビール学術財団) 査読無、第26号、2013、pp.51-57。

市川哲、ファム・ホンロン、センサティット・シモンケオ、チャトウシカ・ラナワカ「世界遺産のインパクトをどう考えるか」『交流文化』(立教大学観光学部) 査読無、第13号、2013、pp.28-37。

王柳蘭、「神戸華人キリスト教徒社会の形成 宣教師と華人の関係性に着目して」小島敬裕編『移動と宗教実践 地域社会の動態に関する比較研究』CIAS Discussion Paper No.47、京都大学地域研究統合情報センター、2015、55-66頁。

王柳蘭、「下からの共生にもとづくネットワーク生成 タイに越境した雲南系ムスリムを事例に」福谷彬・中山大将・巫靚共編『京都大学アジア研究教育ユニット報告書7 2014年度京都大学南京大学社会人類学若手ワークショップ報告論文集』京都大学アジア研究教育ユニット、2015、64-72頁。

王柳蘭、「基于“自下而上的共生”而形成的联系网络 以移居到泰国的云南穆斯林为例」福谷彬・中山大将・巫靚共編『京都大学アジア研究教育ユニット報告書7 2014年度京都大学南京大学社会人類学若手ワークショップ報告論文集』京都大学アジア研究教育ユニット、2015、129 - 136頁。

王柳蘭、「北タイと中国の関係 移民が生み出す関係性」『日中関係の質的変容をどう理解するか 他地域の視点から捉え直す』(塩谷昌史・高橋五郎・貴志俊彦編 JCAS コラボレーション・シリーズNo.8)、2014、pp.29-34。

王柳蘭、「神戸華人キリスト教徒社会の形成 宣教師と華人の関係性に着目して」小島敬裕編『移動と宗教実践 地域社会の動態に関する比較研究』CIAS Discussion Paper No.47、京都大学地域研究統合情報センター、2015、55-66頁。

王柳蘭、「泰緬边境的中国穆斯林移民乡情」『Discussion Paper Series インターフェイスとしての女性と中国系移民のディアスポリック空間』1、査読無、(<http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/go/>) アップ予定) 2016

片岡樹、「山地からみたブンチュム崇拝現象 - ラフの事例」『東南アジア研究』、査読有、53-1、2015、pp.100-136。

片岡樹、「文化の資源化と宗教 中国ラフ族の『胡蘆文化』論をめぐって」塚田誠之編『民族文化資源とポリティクス 中国南部地域の分析から』風響社、査読無、2016、325-270頁。

河合洋尚、「東南アジアにおける客家研究の新傾向 シンガポール、マレーシアを対象として」『国立民族学博物館研究報告』、査読有、38巻1号、2013。

河合洋尚、「馬來西亜沙巴州の客家人 關於移民、認同感、文化標志の初步報告」『客家研究輯刊』(中国広東省嘉应大学客家研究所)42号、2013、134-144頁。

河合洋尚、飯島典子、「日本客家研究的軌跡

- 従日本時代台湾調査後現代主義視角」『全球客家研究』(台湾国立交通大学)、査読有、創刊号、2013。
- 河合洋尚、「客家建築と文化遺産保護 景観人類学視野」『学術研究』(広東省社会科学界联合会)、査読有、CSSCI期刊、341期、2013、55-60頁。
- 河合洋尚、「中国客家地域における『霊性』と宗教景観の再生」『唯物論研究』、査読無、122号(特集=「スピリチュアル」の解明)、2013、110-120頁。
- 河合洋尚、「空間概念としての客家 『客家の故郷』建設活動をめぐって」『国立民族学博物館研究報告』、査読有、37巻2号、2013、199-244頁。
- 河合洋尚・呉雲霞、「ベトナム客家の移住とアイデンティティ ンガイ人に関する覚書」『客家與多元文化』(日本客家文化協会)9期、査読無、2014、26-51頁。
- 河合洋尚・呉雲霞、「ベトナムの客家に関する覚書 移動・社会組織・文化創造」『華僑華人学会』(日本華僑華人学会)11号、査読有、2014、93-103頁。
- 河合洋尚、「族群話語と社会空間 四川成都、広西玉林客家空間的建構」韓敏・末成道男(編)『中国社会と民族的話語分析 人類学的理 框架論及個案研究』(Senri Ethnological Studies) 査読有、No.90、2014、115-131頁。
- 河合洋尚・阿部朋恒、「中国雲南省における<僑郷空間>の創出 紅河県を事例として」川口幸大・稲澤努(編)『僑郷 華僑のふるさとの表象と実像』行路社、査読無、2016、287-317頁。
- 河合洋尚・呉雲霞、「ベトナム北部華人の移住と社会的ネットワーク 6つの広東系/客家系家族をめぐって」『Discussion Paper Series インターフェイスとしての女性と中国系移民のディアスポリック空間』1、査読無、(<http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/go/> X アップ予定)
- 木村自、「日本華僑華人学会設立10周年記念シンポジウム『華僑華人研究の回顧と展望』」(篠崎香織、園田節子、陳天璽、木村自、川口幸大との共著)『華僑華人研究』第11号、査読有、2014、70-75頁(木村担当箇所)。
- 宮原暁、「インターフェイスとしての女性と中国系移民のディアスポリック空間」『Discussion Paper Series インターフェイスとしての女性と中国系移民のディアスポリック空間』1、査読無、(<http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/go/> X アップ予定)
- 宮原暁、「Women's Experiences in "Chinese Diasporic Space" in Southeast Asia: Movement, Nostalgia, and Interface.」『Discussion Paper Series インターフェイスとしての女性と中国系移民のディアスポリック空間』1、査読無、(<http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/go/> X アップ予定)
- 横田祥子、「政治的な正しさの背後にかくれたローカルな論理によりそう-商業的国際結婚と家族」、白石壮一郎・椎野若菜編『100万人のフィールドワーカー7、社会問題と出会う』古今書院、査読無。
- (学会発表)
- 市川哲、「出自・『混血』・エスニシティ - 華人性の動態的研究に関する予備的考察」、2013年度日本華僑華人学会特別企画「東南アジアの中国系移民と身体の政治学」(平戸文化センター)、2014年1月25日。
- 市川哲、「ルーツ・シーキングからルーツ・ツーリズムへ パプアニューギニア華人にとっての僑郷と中国」、日本華僑華人学会2013年度例会「新たな僑郷研究の展開: 国内・国外からの視点」(立教大学) 2013年12月8日。
- ICHIKAWA, Tetsu "Commodity Chain and Ethnic Network: Edible bird's Nest Business in Sarawak, Malaysia," American Anthropological Association 2013 Annual Meeting (Chicago Hilton Hotel, Chicago), November 20, 2013.
- ICHIKAWA, Tetsu "From Cave to Farm House: Edible Bird's Nest Trade in Contemporary Sarawak, Malaysia," Japanese Society for Studying Chinese Overseas 10th Annual Meeting, Panel presentation "Anthropological Studies on the Localization of Chinese Food Business in Southeast Asia: Restaurant, Café, and Farm House," (Keio University), November 17, 2013.
- ICHIKAWA, Tetsu "From Root Seeking to Tourism: Changing nature of Homeland for Papua New Guinean Chinese," International Symposium on Socio-cultural Change in Global Cities. (Seoul Metropolitan University, Seoul), October 21, 2013.
- 市川哲、「環境利用と商品連鎖 マレーシア、サラワク州における『ツバメの巣』ビジネスの展開」第7回日本生活学会生活文化研究会(女子栄養大学) 2013年4月27日。
- Wang Liulan, "Han/Hui Ethnic Relations and Searching for the Commonality of being 'Chinese' and 'Muslim' on the Thai/Myanmar Borderland." Panel "Border-crossing and Redefining Selves: Inter-ethnic relations, ethnicity and searching for commonality in transnational Asia (Organizer: Wang liulan), 6th East Asian Anthropological Association, Xiamen University, China, 2013年11月15-17日。
- 王柳蘭、「北タイと中国の関係 移民の視点から」地域研究コンソーシアム年次集会シンポジウム「日中関係の質的变化をどう理解するか 他地域の視点から捉えなおす」、愛知大学、2013年11月9日。
- 王柳蘭、「異宗教・異民族間コミュニケーションにおける共生の枠組と地域の複相性に関する比較研究」2012年度京都大学地域研究統合情報センター・共同利用・共同研究報告会、京都大学、2013年4月28日。
- Wang-Kanda, Liulan "Halal Food, Identity and

- Negotiation among Chinese Muslim in Northern Thailand". Annual Conference of East Asian Anthropological Association, Panel 5-1: Everyday Strategy of Negotiating and Co-existence: Food, Self and Culture (Chair: WANG-KANDA Liulan)(YeungNam University, Gyeongsan, South Korea), Nov.11, 2014.
- Wang-Kanda, Liulan "Bottom-up Coexistence: The Negotiation of Chinese Ethnicity, Islam and the Making of Ethno-religious Landscapes among Yunnanese Muslims in the Thai-Myanmar Borderland". Paper presented at the International Workshop on Migration and the Remaking of Ethnic/Micro-Regional Connectedness (National Museum of Ethnology and Kyoto University), Dec.5-7, 2014.
- 王 柳 蘭、"Reimagining Homeland - Ethno-religious Hardship and Family Experiences among Chinese Muslim Women in Thailand," 第 6 回 International Conference of Institutes & Libraries for Chinese Overseas Studies, 華僑大学, 2015.10.17.
- 片岡樹、「架空の言語と架空の識字力? タイ国における大乘系漢文經典の知識」、日本文化人類学会第 49 回研究大会研究大会、大阪国際交流センター、2015.5.30-31.
- 片岡樹、"Baba Cemeteries in Thailand", IUAES Inter-Congress 2015, Thammasat University, Bangkok, 2015.7.17.
- 片岡樹、"A New Hybrid Chinese Used in Mahayana Chanting among the Chinese Immigrants of Thailand", 第 6 回 International Conference of Institutes & Libraries for Chinese Overseas Studies, 華僑大学, 2015.10.17.
- 片岡樹、"Command on the Forests: International Relations of Southeast Asia as Viewed from the Highlands", the Southeast Asian Studies in Asia (SEASIA) 2015 Conference, Kyoto International Conference Center, 2015.12.12-13.
- 片岡樹、「タイ国の中国系大乘仏教」、華僑華人学会研究大会、京都大学、2015.11.14-15.
- 河合洋尚、「パブリック人類学の現在 方法論、及び東アジアにおける展開」日本文化人類学会東アジア公共人類学懇談会シンポジウム「パブリック考古学とパブリック人類学の対話可能性」(京都府文化博物館)、2013年9月28日。
- 河合洋尚、「越南客家の神佛信仰と宗教景観の創造」国際シンポジウム「中日人類学民族学理論刷新と田野調査」(中国社会科学院民族学人類学研究所)、2013年11月19日。
- 河合洋尚、「日本、美国客家団体の比較研究」、客家ネットワーク、(台湾交通大学客家文化学院)、2013年11月10日。
- 河合洋尚、「Landscape Politics and Life Practices around Cultural Heritage: Comparison between Fujian Tulow and Hakka Weilongwu", Second International Conference on Cultural Heritage (Zhejiang University), November 16, 2013.
- 河合洋尚、「日本沖繩与客家原郷の民俗風水」、国際シンポジウム「国際移民与客家文学術研討会」(嘉応大学客家研究院) 2013年10月10日。
- 河合洋尚・阿部朋恒、「中国雲南省における<僑郷空間>の創出」華僑華人学会研究会(東京大学) 2014年8月2日。
- 河合洋尚、「華僑与宗教復興 華南客家地区的客家景観和靈性」国際シンポジウム「宗教与文化」(南京大学社会学院人類学研究所) 2014年4月26日。
- 河合洋尚、「ベトナム客家の移住とアイデンティティ ンガイ人に関する覚書」国際学術シンポジウム「客家と多元文化」(日本国際客家文化協会主催)(明治大学) 2014年8月3日。
- 木村自、「戦後台湾の政治的・社会的変容に対する在台湾中国ムスリムの戦略-アイデンティティ語りとその揺れについて」国際ワークショップ「現代中国における少数民族文化の動態」(東京大学東洋文化研究所・大会議室) 2015年2月14日。
- 木村自、「Different Contexts of Benevolence and Ethnic Interaction in the Local Community: Preliminary Report of the Charitable Activities in Myanmar." The International Union of Anthropological and Ethnological Sciences 2014. At Makuhari Messe, Chiba. 2014年5月18日。
- 三尾裕子、Local Women Who Impacts on the Culture and Ethnicity of People of Chinese Origin: Case of Minh Huong in Central Vietnam, 第 6 回 International Conference of Institutes & Libraries for Chinese Overseas Studies, 華僑大学, 2015.10.17.
- 宮原曉、"Chinese Overseas Studies in Pre-war Japan and the East Asian Version of Modernity: Focusing on the Position of 'Ka-kyo' both in each Host Country and the Greater East Asian Co-Prosperity Sphere." The 17th World Congress of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences, The University of Manchester, 2013.8.13.
- 宮原曉、日中関係の質的変容をどう理解するか—フィリピン諸島からの視点(華僑華人からの視点を中心に) JCAS 公開シンポジウム「日中関係の質的変容をどう理解するか」(愛知大学国際中国学研究センター) 2013年11月9日。
- 宮原曉、移動する身体の軌跡と中国系移民のディアスポリック空間、日本華僑華人学会特別企画「東南アジアの中国系移民と身体の政治学」平戸文化センター特別会議室、2014年1月25日。
- Miyahara, Gyo "Chinese Exchange": A Historical Overview and Issues. IUAES Inter-Congress 2014 (Chiba), 2014.5.18.
- Miyahara, Gyo, "Overseas Death, Burial Practices, and Ancestral Worship: A Historical Overview and A Conceptual Framework", IUAES Inter-Congress 2015, Thammasat University, Bangkok, 2015.7.17.
- Miyahara Gyo, "Sever Ties and Mobile Bone: An

Interpretation for Cremation Practices among Diasporic Chinese in the Philippines”, Workshop on “Death, Burial Rituals, and Cemeteries among Chinese Communities in Insular Southeast Asia: 16th and 17th to 21st Centuries”, Kaisa-Angelo King Heritage Center, Intramuros, Manila, Philippines, 2015.8.5.

Miyahara, Gyo, “Women’s Experiences in “Chinese Diasporic Space” in Southeast Asia”, 第6回 International Conference of Institutes & Libraries for Chinese Overseas Studies, 華僑大学, 2015.10.17.

横田祥子、「地方選挙におけるチャイニーズネスをめぐるポリティクス 2012年インドネシア西カリマンタン州シンカワン市市長選挙」、AA研共同利用・共同研究課題「多元的想像・動態的現実としての『華人』をめぐる研究」2013年度第1回研究会（東京外国語大学）2013年5月11日。

横田祥子、「周縁的中華圏における婚姻の贈与交換」、日本華僑華人学会「東南アジアの中国系移民と身体政治学」研究会（平戸文化センター）2014年1月25日。

横田祥子、「トランスナショナルな家族福祉の保持 インドネシア華人の国際結婚を通じた家族の戦略」、AA研共同利用・共同研究課題「多元的想像・動態的現実としての『華人』をめぐる研究」2013年度第3回研究会（東京外国語大学本郷サテライト）2014年2月8日。

横田祥子、「Remigration to “Free China”: the Political Decision for Indonesian Chinese”, at Celebrating 20 Years of SEASREP and Southeast Asian Studies, 2015 Southeast Asian Studies Regional Exchange Program (University of Gajah Mada, Indonesia), 2015.11.4.

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

宮原 暁 (MIYAHARA, Gyo)

大阪大学グローバルコラボレーションセンター・教授

研究者番号：70294171

### (2) 研究分担者

三尾 裕子 (MIO, Yuko)

慶応義塾大学文学部・教授

研究者番号：20195192

市川 哲 (ICHIKAWA, Tetsu)

名古屋市立大学大学院人間文化研究科・准教授

研究者番号：40435540

木村 自 (KIMURA, Mizuka)

大学共同利用機関法人人間文化研究機構本部・招へい研究員

研究者番号：10390717

片岡 樹 (KATAOKA, Tatsuki)

京都大学アジア・アフリカ地域研究科・准教授

研究者番号：10513517

河合 洋尚 (KAWAI, Hironao)

国立民族学博物館・助教

研究者番号：30626312

中西 裕二 (NAKANISHI, Yuji)

日本女子大学人間社会学部・教授

研究者番号：50237327

王 柳蘭 (WANG, Liulan)

同志社大学グローバル地域文化学部・准教授

研究者番号：50378824

横田 祥子 (YOKOTA, Sachiko)

滋賀県立大学人間文化学部・助教

研究者番号：80709535